

つくばチャレンジ2014参加者説明会メモ

- 1 日 時 平成26年7月2日(金) 10:00~11:40
- 2 場 所 つくば国際会議場(エポカルつくば)大会議室101

3 配布文書

- (1) 参加者説明会次第
- (2) つくばチャレンジ2014参加チーム一覧
- (3) 安全対策について
- (4) 実験走行における安全の確保について
- (5) 安全等の遵守事項

4 議事(進行:東郷(つくば市科学技術振興課))

(1) 挨拶

参加者説明会の開催にあたり、岡田久司つくば市副市長および油田つくばチャレンジ実行委員長より挨拶があった。

(2) 実行委員紹介

油田実行委員長より、つくばチャレンジ実行委員についての説明、紹介がなされた。

(3) 参加者自己紹介

つくばチャレンジ2014の参加チームから自己紹介が行われた。

(4) つくばチャレンジ2014の課題と説明

油田実行委員長より、つくばチャレンジ2014の趣旨や課題の説明が行われた。また、実験を行っていく上で、市民の方々への安全の配慮を怠らないという注意がなされた。

【参加チームからの質問とその回答】

◇ トライアル区間での記録走行は、実験走行会の都度行う必要があるか。

→ 一度でも、トライアル区間での記録走行を達成したらロボットに達成の印を付け、次回からは不要とする。

◇ トライアル区間での「走行実験」はどこから始めても構わないか。

→ 「走行実験」はどこから始めても構わないが、決められたエリアからは出ないようにしてほしい。

◇ トライアル区間での記録走行は、一日で一回だけなのか。

→ その実験走行時間の始めから、一日何回でも行えるように出来る様にしたいと考えている。但し、自律走行には実行委員の方に随走してもらう予定なので、実行委員の方に空きが無い場合は、走行を待ってもらうことになる。

◇ 第3探索エリアの折り返し地点を過ぎた後、帰り道に再度、第2探索エリアに入って人を探しながらゴールへ向かっても構わないか。

→ 良いことにする。ただし、第1探索エリアの探索対象の探索を最後にすることで、第1探索エリアが混雑するような状況になったら、再度、全体に連絡する。

(5) 安全の確保について

飯島実行委員（明星大学）より、

- ・実験走行における安全の確保についての遵守事項や人との親和性
- ・ロボットの安全性のチェックについての注意点やロボットの構造の注意点等についてスライドを使用して説明がなされた。

また、油田実行委員長より、安全性のチェックの際は、ロボット開発者だけでなく第三者の目加え、どうしたら安全性を保てるかを議論する場でもあるとの補足があった。

(6) 注意事項と日程について

- ・実験をするにあたっては、警察に道路使用許可を得ており、コース管理係を配置する必要もある。この為、決められた日程以外の走行実験はできないとの説明があった。

(7) 情報公開について

・12月の計測自動制御学会システムインテグレーション講演会で、つくばチャレンジオーガナイズセッションをするので、多くのチームに発表して頂きたいとの協力依頼があった。

・1月のつくばチャレンジシンポジウムへの参加と資料集原稿作成の依頼がなされた。

・2月につくば市のロボットフォーラムが開催されるので、ここでつくばチャレンジのアクティビティを紹介したいとの依頼があったことが伝えられた。

・JRM（Journal of Robotics and Mechatronics、編集長:滝田実行委員）が毎年つくばチャレンジの論文特集を計画しているとの報告があった。

(8) その他、意見交換等

◇ JRMの論文の締切について。

→2015年1月～2月が締切りとなるので、ご計画ください。

◇ 鈴木太郎実行委員（東京海洋大学）から、JAXAと協力して、GPSの補正データを配信する旨のアナウンスがあった。

→単独測位よりも正確な位置が出るような補正データの配信を行うことを予定している。つくばチャレンジに参加しているチームに無料で利用できるようにする。

（できれば8/2から）

以上